

RUYII

MEIRY

PRODUCTS GUIDE

REAL CHEMICAL CO LTD

LINE UP

MEIRY COLOR LINE UP / 全65色(11シェード61色+メラニン2色+クリア+ライトナー)

Brown	Natural	Ash	Olive	Gold	Orange	Copper	Red	Pink	Violet	Gray
B	N	A	OL	G	O	C	R	P	V	GR

12B	12N	12A	12OL	12G	12O	12C	12R	12P	12V	12GR
10B	10N									
9B	9N	9A	9OL	9G	9O	9C	9R	9P	9V	9GR
8B	8N									
7B	7N	7A	7OL	7G	7O	7C	7R	7P	7V	7GR

▶
 グレイカラー
 対応Lv
 (右数字)

6B/8	6N/8						
5B/7	5N/7	5A/7	5OL/7	5G/7	5O/7	5C/7	5R/7
4B/6	4N/6						
3B/5	3N/5						
	2N/4						

CLEAR	LIGHTNER
MELANIN2	MERANIN4

→ 色調

※ 色番表示の見方

4 R / 6 → 白髪30%への仕上がり明度

→ 黒髪への仕上がり明度

MEIRY 商品特性

① デザインカラーに最適

- ・中高明度の彩度が高い。
- ・直接染料を一切使用していないため、施術後の色持ち効果が高い。

② トーンダウン専用ツール(メラニン / 2. 8%OX)

- ・メラニン2、4で高明度からでも簡単にトーンダウンが出来ます。
- ・2. 8%過酸化水素により、3%と同等の発色効果を用いながらもダメージをより抑えられます。
- ・変退色や退色時に明度が上がる事を防ぎます。

③ 優れた操作性

- ・混ぜやすい。
- ・塗布がスムーズ。
- ・臭いが無い。(使用している重炭酸アンモニウムは刺激臭がありません。)

④ 毛髪頭皮へのダメージ軽減

- ・刺激、ダメージを抑制。(天然植物エキス配合により刺激と負担を和らげ、トリートメント成分がキューティクルを整えて髪
の健康を守ります。)
- ・揮発性のアルカリ剤。(アンモニアと重炭酸アンモニウムを使用することで、残留アルカリを防ぎダメージを抑えられます。)

MELANIN

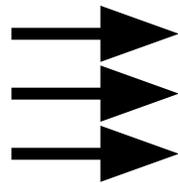
既染部のダメージを配慮しながら色調を整える

ノンアルカリ疑似メラニンシェード2色。

【従来の既染部用の 弱アルカリカラー や 中性カラー のデメリットを解消！！】

【従来型のデメリット】

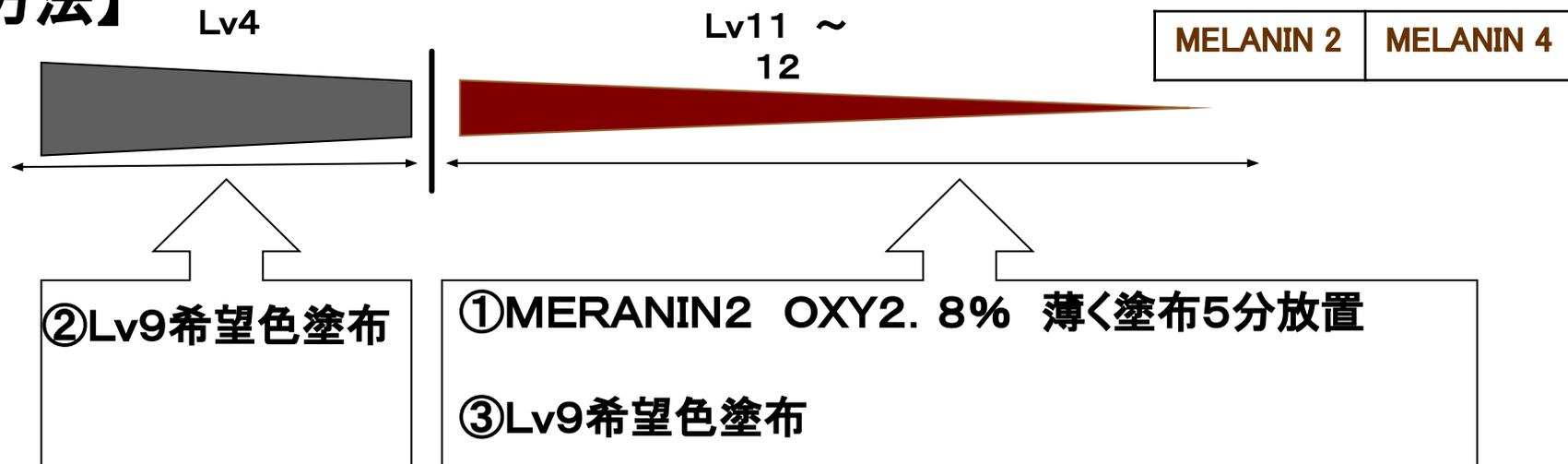
- ☆ 手間！！
- ☆ 在庫負担！！
- ☆ 色計算！！



【MERANINで解決！！】

- 毛先に、薄く塗っておくだけ！（もしくは混ぜるだけ）
- 2色でO.K！
- ベースカラーは根本の色味でO.K！

【施術方法】



MELANIN 商品特性

- ・メラニン色素に近い色味で設定。
補色を足さずに明度調整(トーンダウン)が可能。
- ・髪の傷みを配慮したノンアルカリの中性タイプ。
- ・メラニン2色と、MEIRY各色との組み合わせのシンプル操作で、幅広いニーズ(既染部処理)にお応えします。

酸化染料はpHが変わると発色の色味が変わる場合があります。
直接染料はpHに左右されませんが、
酸化染料との褪色過程の違いがでます。
「メラニン」は褪色過程が穏やかな酸化染料のみで処方され、
アルカリカラーとのミックス時でも
変色し難い色素構成になっています。

LIGHTNER / CLEAR

明度を調整しカラーデザインの幅を広げる
ティント量を調整し透明感のある色を作る

ライトナー
クリア

LIGHTNER

- 約13レベルまでの明るさに脱色します。染料は配合されていません。
- 12レベルとライトナーを(1:1~2)の割合でミックスすることで12レベル以上の明るさに仕上げます。

※ 過硫酸塩は配合されていません。色素を壊さず、全ての色に組み合わせが可能です。

CLEAR

- 髪の毛の傷みを配慮したノンアルカリの中性タイプ(pH:約7)。
- クリアをミックスすることでアルカリカラーのリフト力を弱め、パール系の色調で仕上げることができます。

(MEIRY各色:クリア)=(1:2)のミックスで、約半分のティント量の発色になります。

※ 希釈する場合には 「CLEAR」
彩度を調整する場合には 「GRAY」
茶味で濁らせる場合には 「BROWN」



テクニカル基本プロセス

ファッションカラー（バージンヘア）

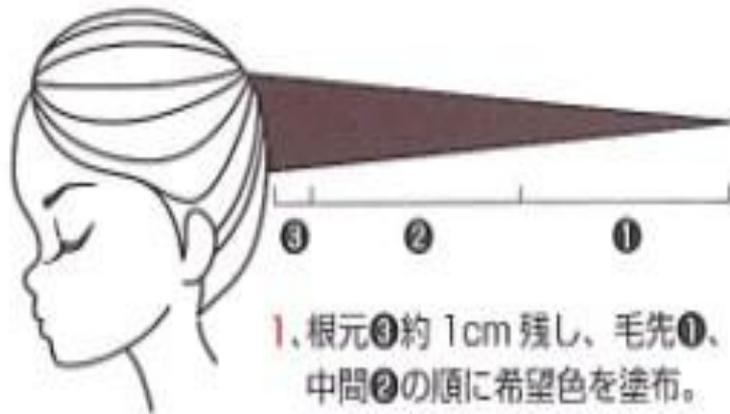
◆単色で均一に塗める

髪の長さが 20cm 以下



1. 根元②約 1cm 残し、中間から毛先①に希望色を塗布。
[自然放置約 10 分]
2. ①が希望色近くまで明るくなったら②に残液を塗布。
[自然放置約 10 分]

髪の長さが 20cm 以上



1. 根元③約 1cm 残し、毛先①、中間②の順に希望色を塗布。
[自然放置約 10 分]
2. ①②が希望色近くまで明るくなったら③に残液を塗布。
[自然放置約 10 分]

ファッションカラー (リタッチ)

◆既染部と同じ明るさに染める

新生部が 20cm 以下



- 1、根元③約 1cm 残し、新生部①に既染部の明度にあわせた希望色を塗布。
- 2、既染部②に、①と同じ第 1 剤と第 2 剤<2.8%>を調合したものを塗布。
【自然放置約 10 分】
- 3、①が希望色近くまで明るくなったら②に①の残液を塗布。【自然放置約 10 分】

新生部が 20cm 以上



- 1、根元③約 1cm 残し、新生部①②の順に既染部の明度にあわせた希望色を塗布。
- 2、既染部④に、①②と同じ第 1 剤と第 2 剤<2.8%>を調合したものを塗布。
【自然放置約 10 分】
- 3、①②が希望色近くまで明るくなったら④に①②の残液を塗布。【自然放置約 10 分】

注意ポイント ダメージが大きい毛先等に寒色系を使用した場合は、色が沈みやすくなります。

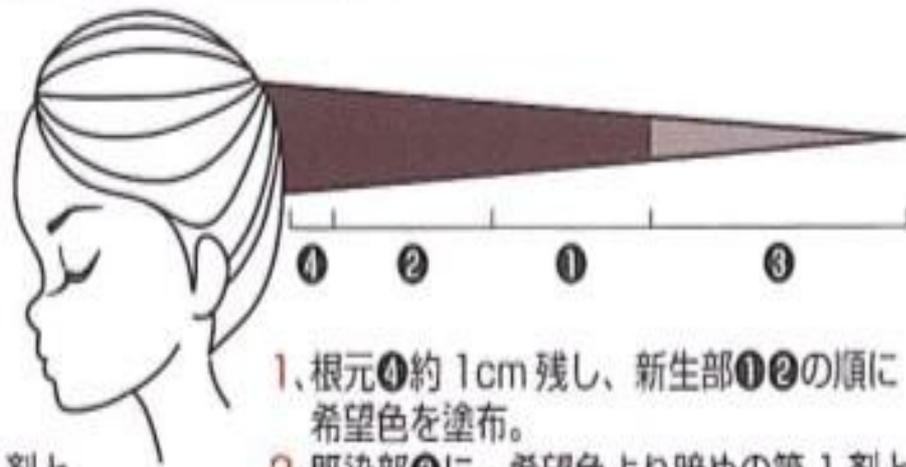
◆既染部より暗く染める

新生部が 20cm 以下



- 1、根元③約 1cm 残し、新生部①に希望色を塗布。
- 2、既染部②に、希望色より暗めの第 1 剤と第 2 剤<2.8%>を調合したものを塗布。
[自然放置約 10 分]
- 3、①が希望色近くまで明るくなったら③に①の残液を塗布。[自然放置約 10 分]

新生部が 20cm 以上

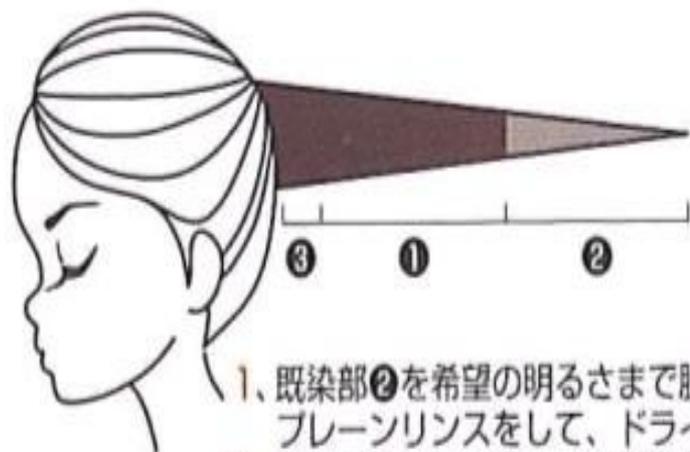


- 1、根元①約 1cm 残し、新生部①②の順に希望色を塗布。
- 2、既染部③に、希望色より暗めの第 1 剤と第 2 剤<2.8%>を調合したものを塗布。
[自然放置約 10 分]
- 3、①②が希望色近くまで明るくなったら④に①②の残液を塗布。
[自然放置約 10 分]

注意ポイント ダメージが大きい毛先等は、色が沈みやすくなります。

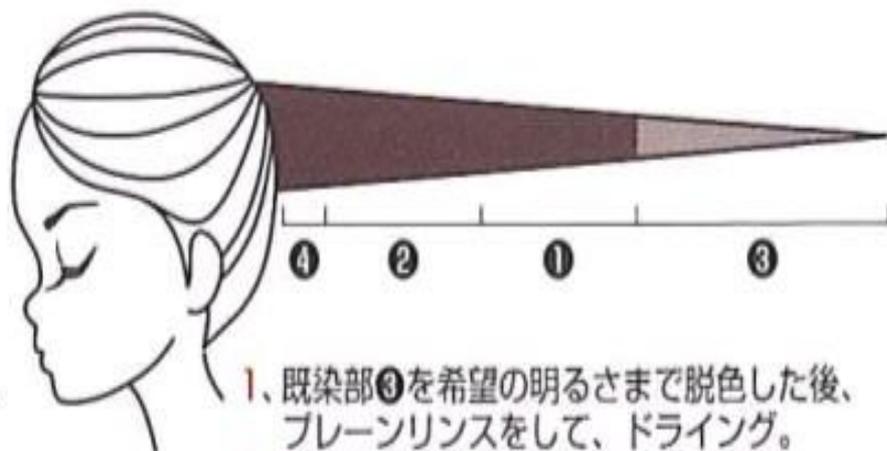
◆既染部より明るく染める

新生部が 20cm 以下



- 1、既染部②を希望の明るさまで脱色した後、ブレーンリンスをして、ドライイング。
- 2、根元③約 1cm 残し、新生部①に脱色後の②の明度にあわせた希望色を塗布。
- 3、既染部②に、①と同じ第 1 剤と第 2 剤〈2.8%〉を調合したものを塗布。
[自然放置約 10 分]
- 4、①が希望色近くまで明るくなったら③に①の残液を塗布。
[自然放置約 10 分]

新生部が 20cm 以上

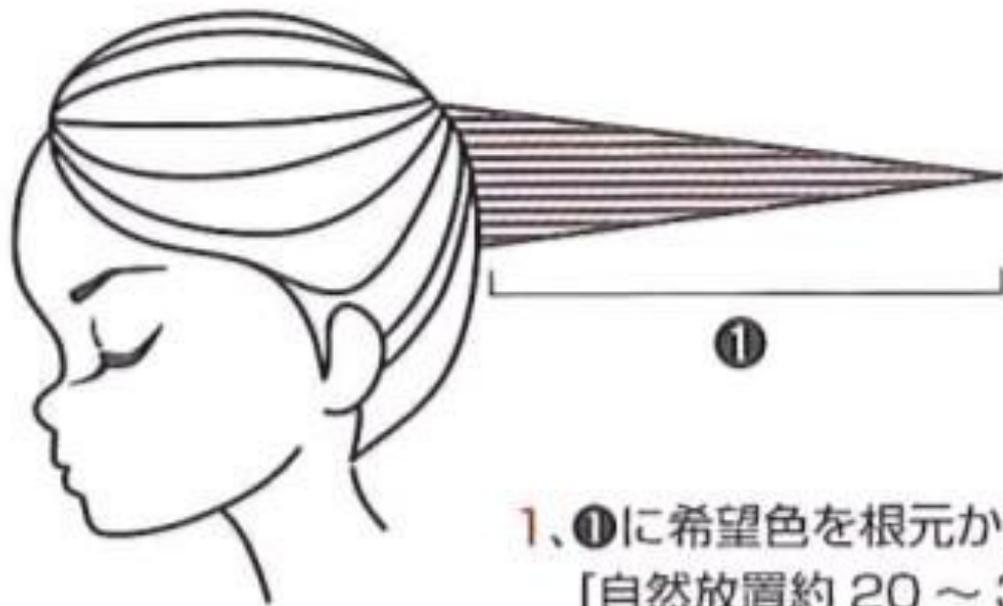


- 1、既染部③を希望の明るさまで脱色した後、ブレーンリンスをして、ドライイング。
- 2、根元④約 1cm 残し、新生部①②の順に脱色後の③の明度にあわせた希望色を塗布。
- 3、既染部③に、①②と同じ第 1 剤と第 2 剤〈2.8%〉を調合したものを塗布。
[自然放置約 10 分]
- 4、①②が希望色近くまで明るくなったら④に①②の残液を塗布。
[自然放置約 10 分]

注意ポイント ダメージが大きい毛先等に寒色系を使用した場合は、色が沈みやすくなります。

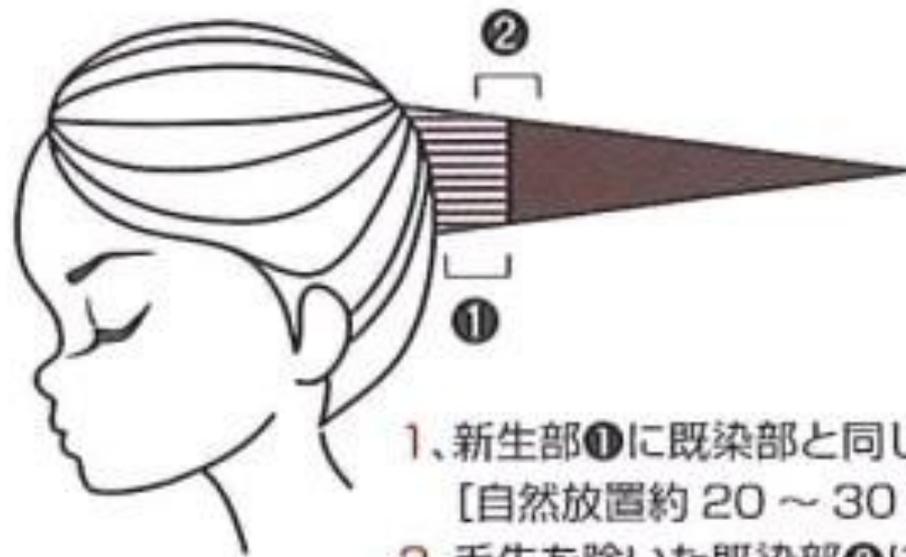
グレイカラー（バージンヘア）

◆全体を均一に染める



グレイカラー (リタッチ)

- ◆ 既染部と同じ明るさに染める (既染部の褪色がない場合)



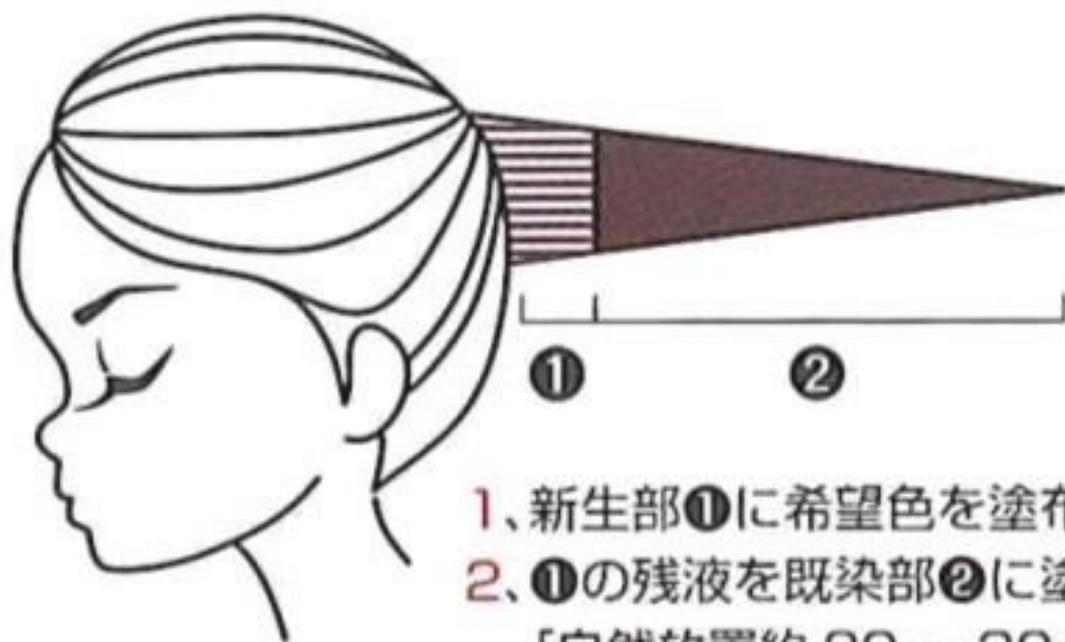
- 1、新生部①に既染部と同じ色の薬剤を塗布。
[自然放置約 20 ~ 30 分]
 - 2、毛先を除いた既染部②に①の残液をコーミング。
[自然放置約 3 ~ 5 分]
- ※毛先は乳化時に馴染ませます。

◆既染部よりやや暗く染める(明度差1~4レベル)



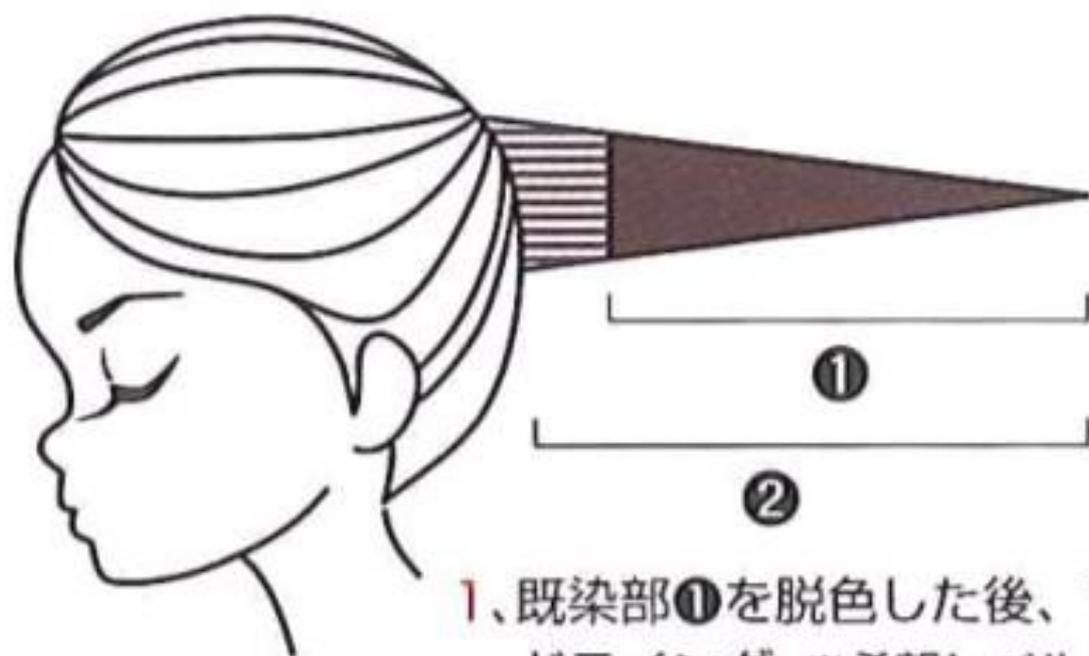
- 1、新生部①に希望色を塗布。
[自然放置約 20 ~ 30 分]
- 2、①の残液を既染部②に塗布。
[自然放置約 5 ~ 10 分]

◆既染部より暗く染める(明度差5レベル以上)



- 1、新生部①に希望色を塗布。[自然放置約 10 分]
- 2、①の残液を既染部②に塗布。
[自然放置約 20 ~ 30 分]

◆既染部より明るく染める



- 1、既染部①を脱色した後、プレーンリンスをして、ドライグ。※希望レベルより約2レベル明るくします。
- 2、毛先を2～3cm除いた②の部分全体に、希望色を塗布。[自然放置約20～25分]
- 3、毛先に残液をコーミング。[自然放置約5～10分]



カバーグレイ テクニカルバリエーション

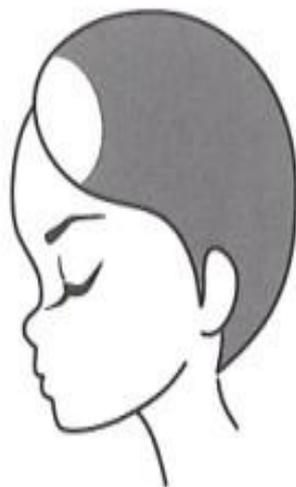
テクニカルI 部分的に白髪が密集している場合に、プレピグメントを行ない全体を均一に染める。

白髪が密集している箇所に、希望色より約2レベル程度暗めの第一剤に、同じ分量の水を加え塗布し、自然放置10分後に本染めをします。

◆調合比率

1剤：水 → 1：1

赤味の出やすい髪質にはBrown系、
黄味の出やすい髪質にはNatural系を
選択します。



【プレピグメントなしの場合】

染め上がりにムラが
でてしまいます。



黒髪 白髪



染色



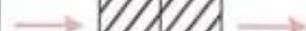
黒髪 白髪

【プレピグメントありの場合】

本染めの前に、白髪を黒髪と同
色に調整することで染め上
がりにムラがでません。



黒髪 白髪



プレピグメント



黒髪 白髪

染色



黒髪 白髪



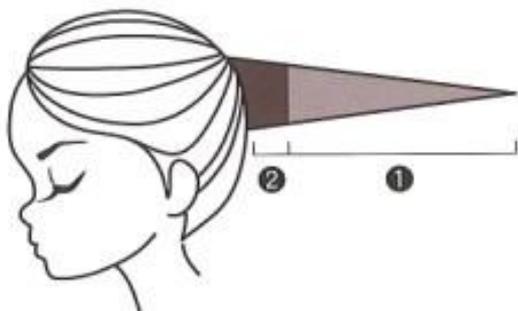
ダメージを抑え、色味とツヤを与える微アルカリカラー

※深みのある高彩度ラインナップだから出来る、既染部対応レシピ。

テクニカルI《メラニン》 既染毛部に不足している色素を補い、新生部と既染部を均一に仕上げる。

既染部にメラニン色素に近い色味で設定されているノンアルカリタイプの「メラニン」をプレビグ感覚で補い、全体を均一に染め上げます。

◆テクニカルプロセス



1、既染部②に「メラニン」(2剤は2.8%)を薄く塗布します。

現状より2~3レベル下げる場合=メラニン2
現状より4~5レベル下げる場合=メラニン4
配合比率=メラニン：2剤 (1：1~2)

※ダメージが大きい毛先は、色が沈みやすいので注意してください。
[自然放置5~10分]

2、新生部①と既染部②に希望色(2剤は6%)を塗布。

※メラニン塗布箇所は重ね塗りになります。
色(メラニン)を重ねることで色持ちがよくなり、
新生部と既染部の褪色過程を近づけます。
[自然放置約20~30分]

例 12Lvの明るさから2~3レベル下げて、全体を9レベルに仕上げる(A・G・R)

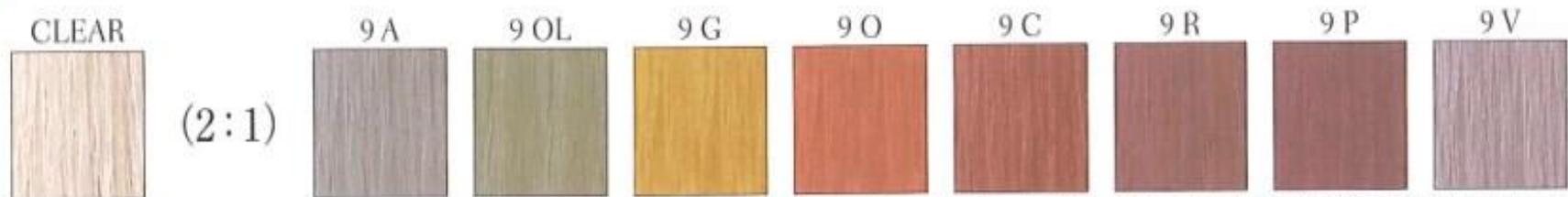
BASE(12 Lv)	9 A	9 G	9 R	
自然放置5分	MELANIN 2	9 A	9 G	9 R

例 12Lvの明るさから4~5レベル下げて、全体を7レベルに仕上げる(A・G・R)

BASE(12 Lv)	7 A	7 G	7 R	
自然放置5分	MELANIN 4	7 A	7 G	7 R

テクニカルⅡ《クリア》 アルカリカラーのリフト力を弱め、既染部のダメージを配慮しながら染色する。

◆色を希釈し、透明感のある淡い色味で既染部の色の入りすぎを抑える。



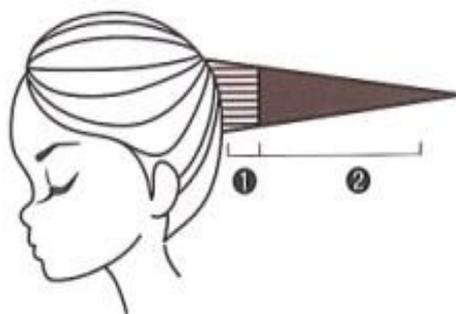
※毛束写真はティントイメージです。印刷物ですので実際の色と多少異なります。

◆グレイカラー時の既染部のトーンダウン目安

既染部には、新生部に使用した1剤と同じ1剤にクリアと2.8%を使用します。

希望明度	クリアのミックス比率
1レベルダウン	クリア：1剤 2：1
2レベルダウン	クリア：1剤 1：1
3レベルダウン	クリア：1剤 1：2

例 既染部が8レベルの場合に全体を6レベルのブラウンに仕上げる



- 1、新生部①に(4 B/6：OXY6%)を塗布
- 2、毛先を除いた既染部②に4 B/6：クリア：OXY2.8% (1：1：2)を塗布
[自然放置20～30分]
- 3、毛先まで全体にコーミング
[自然放置5～10分]



ティントコントロール

コントロールⅠ《ライトナー》

($\frac{\text{ライトナー}}{1-2} : \frac{\text{色剤}}{1}$)の割合でミックスすることで、色味を残しながら12レベル以上の明るさで染色する。

LIGHTNER



(2:1)

12A



12OL



12G



12O



12C



12R



12P



12V



コントロールⅡ《グレイ》

彩度を調整し、グレイッシュな色味で染色する。

9GR



(2:1)

9A



9OL



9G



9O



9C



9R



9P



9V



コントロールⅢ《ブラウン》

ブラウンをミックスし新生部と既染毛部をワンタッチで馴染ませる。

9B



(2:1)

9A



9OL



9G



9O



9C



9R



9P



9V



※毛束写真はティントイメージです。印刷物ですので実際の色と多少異なります。